

知恵の わ環



町では町民の皆さんのご意見をまちづくりを活かす広聴活動として、「知恵の環」を実施しています。知恵の環では、皆さんが日頃より抱えている身近な疑問や問題点、ご意見やご提案を随時受け付けています。

寄せられたご意見については、ご本人に直接回答するほか、承諾いただいた場合は、ご意見と その対応（回答）を広報紙に掲載しています。ご意見をいただきましたのでご紹介いたします。

■お問い合わせ
政策推進課

☎ 4-2511 内線 235
☆ 4-251102



Q 貴重なご意見 ありがとうございます

レジ袋が有料化となり、3か月が経ちました。環境への負荷を少しでも減らすために必要な取り組みだと考えますが、一方で、下川町の資源ごみは基本的に透明または半透明の袋（ビニール袋）に入れて出すルールとなつていますね。

レジ袋をもらわなくなつたら、ゴミ袋が無くして不便になつた：と思われている人も少なくないように感じます。

ある自治体では、リサイクルの紙ゴミは手付きの紙袋に入れてゴミ集積所へ運ぶルールとなつていました。

ゴミとして出す紙袋がそのままゴミ袋になるので、非常に理にかなつていないと思います。きちんと立てかけて置けば、中のゴミが散乱してし

まうようなことありませんでした。

コストもかかりませんし、少しでも余計なプラスチックごみを減らせたらと思いますので、まずは「その他紙」のゴミだけでも、この方法を導入できませんでしょうか。

手付きの紙袋が無いというご家庭もあるかもしれませんが、当面の間は従来通りのビニール袋に入れるパターンと併用でもよいかもしれません。

まずはご検討のほど、よろしくお願いたします。

A 意見について 回答します

現在その他紙ゴミを透明・半透明のビニール袋に入れることとしている目的ですが、一つには収集の際に中身を確認することにあります。時

には目視だけではなく、収集作業員がさわって確認する場合もありますので中身が見えることで、選別するだけでなく作業員の安全が確保されます。

もう一つは多くのゴミステーションは雨や風、雪などが直接当たりやすい構造になっているため、紙袋の場合濡れたり破れたりして、収集に支障をきたす恐れがあります。

以上の理由から、現在の収集方式のままでは紙袋に移行することは難しい状況にあります。

ただし、その他紙ゴミを紙袋に入れることは、今後の廃棄物収集・処理全体を検討する中で、参考にさせていただきます。

ご理解、ご協力をお願いします。

（税務住民課）

